

主催：大阪府

共催：公益財団法人 国際花と緑の博覧会記念協会

公共施設としての 日本庭園マネジメントシンポジウム

後援：(公社) 日本造園学会関西支部・(一社) 日本造園建設業協会近畿総支部・(一社) 公園管理運営士会西日本支部

企画・運営：阪神造園建設業協同組合

万博記念公園の日本庭園は開園以来 50 余年を経過し、'70 年日本万博のレガシーとしてその存在価値を高めています。今年度中に国の登録記念物（名勝地関係）指定を目指して準備を進めていますが、都市公園としての文化財日本庭園の景観維持技術の保持や運営の在り方について、進士五十八先生のお話をお聞きし、先駆者である特別名勝の3庭園の事例を参考にして学習したいと思い、また広く日本庭園関係に従事する方々にも聞いて頂きたいと願って公開シンポジウムを開催することにいたしました。皆様のご参加をお待ちしております。

■開催日時：令和6年5月11日（土） 13時30分～16時45分

■開催場所：エル・おおさか（大阪府立労働会館）本館 6階 会議室

大阪府中央区北浜東3-14（裏面地図参照） ☎ 06-6942-0001

◆ 基調講演：



講師 進士 五十八 氏（福井県立大学名誉教授・前学長 東京農業大学名誉教授・元学長）

テーマ 都市公園としての日本庭園の価値と継承

◆ 名勝庭園事例発表：



◆ 特別名勝 兼六園《石川県営都市公園》

猿田 秀一 氏（元石川県金沢城・兼六園管理事務所長）



◆ 特別名勝 岡山後楽園《岡山県営都市公園》

河本 泰輔 氏（岡山県後楽園事務所長）



◆ 特別名勝 栗林公園《香川県営都市公園》

山本 知子 氏（香川県栗林公園観光事務所長）

◆ パネルディスカッション：



井原 縁 氏

◆ コーディネーター 井原 縁 氏（奈良県立大学地域創造学部 教授）

◆ パネリスト 猿田 秀一 氏・河本 泰輔 氏・山本 知子 氏

◆ コメンテーター 進士 五十八 氏

（裏面に参加申込書があります）

◇ 参加費：無料です。

◇ 申込期限：令和6年5月7日（火）までです。

◇ 申込先：下の票にご記入頂き、できるだけFAXかメールでお申込下さい。

阪神造園建設業協同組合 宛

FAX 06-6311-3143

メール hanshin@ca.mbn.or.jp

☎ 06-6312-4553

◇ 受付：13時からです。

◇ 会場地図：



公共施設としての日本庭園マネジメントシンポジウム 参加申し込み票

お名前	
所属先	
連絡先	電話： FAX： メールアドレス：